

ひがし

nagasaki
higashi
information



よき世を創る若人を育てるために
長崎県立長崎東中学校・長崎東高等学校

長崎市立山5丁目13番1号

TEL 095-821-4642 / FAX 095-823-5472

URL <http://www.news.ed.jp/higashi-h/>

長崎東通信 No.283 令和2年11月27日発行

社会とつながる「ひがし」の学び

校長 鶴田 栄次

11月に入っても秋らしいさわやかな天気が続いています。この1カ月の間、生徒が学校外で活動（活躍）する機会が増えました。詳細については、この号の別の紙面に記載してありますので、ご覧いただきたいのですが、部活動面では、テニス部男子や放送部、吹奏楽部で九州大会出場など、活躍が続いています。高総体駅伝も男女とも力走しました。一生懸命走る姿に感動しました。

さて、中学3年生は、10月29日・30日に修学旅行を実施しました。私もハウステンボスでの英語研修の様子を見に行きましたが、最初から積極的に英語を使ってコミュニケーションをとろうとする生徒たちを見て、日頃の学習の成果が発揮できていることに感心しました。2日ともに晴天に恵まれ（昼間は暑かったです）、無事に終了しました。

高校では、WWL（ワールドワイドラーニング）拠点校の活動として、企業や大学などを訪問し、自らの探究学習の深化を図る取組（フィールドワーク）を実施しました。前段階として、10月16日にオンラインで企業や大学等の講演を聞き、その後、11月11日・12日に実際に現地に出かけ、テーマに沿った視察やインタビューなどを行いました。長崎市内はもとより、五島や佐世保、大村や南島原市など、県内各地へ班別に出かけていきました。こうした取組については、テレビや新聞でも紹介されています。訪問先の企業や大学等の方々も協力を惜しまず対応をしていただきました。本当にありがとうございました。

これからの社会を担うリーダーを育成することを目指す「ひがし」として、学校だけで教育活動を完結させるのではなく、様々な機会を通して、学んだことが社会の中でどう活用できるのか、社会が抱える課題を解決する方策とは何なのか、実社会で活躍する異年齢の方々から、

コミュニケーションをとりながら学ぶことは、大学進学後の「学び」にもつながる非常に重要な教育活動であると考えています。生徒たちは、引き続き探究学習を続け、中間発表・本発表となります。発表内容も注目ですが、それまでのプロセスの中で体験する多様な「学び」にも注目してきたいと思います。

こうしたフィールドワークに加えて、別日程で、広島や対馬、松浦にも生徒は出かけています。松浦へは中学2年生が訪問し、松浦市長さんとも話をしています。本来ならば、さらに、海外でのフィールドワークも実施する予定でした。今後とも、社会との接点を意識した教育活動を充実させたいと考えています。

11月に入り、北海道や首都圏、関西圏などでは、コロナウイルス感染者が非常に増えている状況です。本県では落ち着いた状況が続いていますが、これから寒くなりますので、換気を含め感染予防対策を万全にして冬に臨む必要があります。バス内でのマナーも含め、保護者の方々、関係機関と連携して取り組んでいきたいと考えておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。



主な行事 12月

1	火	第3回考査③(高)人権集会(中)
2	水	第3回考査④(高)
3	木	考査レビュー日(高)
5	土	GTEC(高1・2)土曜補習(高3)
7	月	三者面談(高3)~11(金)
8	火	人権に関する講話(高)
12	土	土曜補習(高)
15	火	保護者面談週間(中1・2)~18(金)
17	木	探究中間発表会(高2国際科)
18	金	探究中間発表(高1・高2普通科) 火曜の授業
19	土	共通テスト(高3)~20(日) 県一斉実力(高1・2)GTEC(中2・3)
21	月	三者面談(高1・2)~25(金)
22	火	GPS(高1・2)グローバルデー(中)
23	水	長崎東安全の日 生活と福祉に関する講話(高1)
24	木	終業式、大掃除
25	金	授業日(高)ブリッジ講座(中3)
26	土	冬季補習(高)寄付講座(高)
27	日	冬季補習(高3)~28(月)
29	火	共通テスト(高3)~30(水)
31	木	学習会(高3)

部活動結果報告

〈高校〉

- ◆第22回市民体育・レクリエーション祭弓道競技
 - ・男子団体 第2位 長崎東A・第3位 長崎東D
 - ・男子個人 第1位 1-2 齋藤 駿平
第5位 2-6 福田 悠
- ◆令和2年度長崎地区高等学校新人体育大会柔道競技
 - ・男子団体 第3位
 - ・男子個人73kg 優勝 2-2 林田 倅弥
 - ・男子個人90kg 優勝 2-1 坂本 圭生
 - ・男子個人81kg 第3位 2-5 池下 宗克
 - ・男子個人100kg超 第3位 1-6 大坪 一輝
- ◆令和2年度長崎県高等学校新人体育大会柔道競技
 - ・男子個人90kg 優勝 2-1 坂本圭生
- ◆令和2年度長崎地区高校新人体育大会剣道競技
 - ・男子団体 第3位
 - ・女子個人 第3位 1-5 大久保 末月

- ◆令和2年度長崎県高校新人体育大会剣道競技
 - ・男子個人 第3位 2-1 平田 悠生
(九州大会出場)
- ◆九州高校放送コンテスト県南地区大会
 - ・アナウンス部門 優秀賞 2-7 山崎 遥
- ◆九州高校放送コンテスト県大会
 - ・アナウンス部門 優秀賞 2-7 山崎 遥
(九州・全国大会出場)
- ◆長崎県高校新人大会卓球競技
 - ・女子団体 第3位(九州大会出場)
 - ・男子団体 第5位
- ◆長崎県高校新人大会ライフル射撃競技
 - ・AR女子団体 優勝 2-3 平山 瑞季
(九州大会出場) 2-2 梅本 美里
1-2 川添 瞳子
 - ・BP男子個人 第1位 2-1 柴田 匠
 - ・BP女子個人 第1位 2-4 弥永朱音
(他7名 九州大会出場)
- ◆令和2年度長崎県高校新人体育大会テニス競技
 - ・男子団体 準優勝・女子団体 第3位
 - ・男子シングルス 準優勝 1-7 安田 圭太郎
- ◆長崎県高校ソフトテニス団体選抜大会
 - ・女子団体 第3位
- ◆第58回長崎県高等学校音楽コンクール
 - ・弦楽器部門
金賞 3-2 森 未来(九州大会進出)
 - ※九州大会 金賞グランプリ
銀賞 1-2 藤丸 菜里子
 - ・金管楽器部門
金賞 2-3 大山 稚葉(九州大会進出)
金賞 2-6 馬場 夏姫
 - ・ピアノA部門 金賞 2-7 猪口 響
 - ・ピアノB部門 銀賞 2-4 松尾 奈津子
銅賞 2-1 野口 捺央

〈中学〉

- ◆第6回全日本小中学生エアリアル射撃競技選手権
 - ・10mエアリアル少年男子 第5位 3-1 森保 信輝
- ◆長崎市中学校新人大会柔道競技
 - ・女子団体 第3位
 - ・女子個人戦 第1位 2-3 林田 明莉
(階級別) 第1位 1-1 中村 志歩
- ◆令和2年度長崎市中学校テニス競技新人大会
 - ・男子ダブルス 第3位 2-1 雨森 智仁
2-2 金出 青空
 - ・女子団体 準優勝
 - ・女子ダブルス 第2位 2-1 奥村 莓子
2-2 白水 結羽
第3位 2-2 岩永 四季
2-3 光山 あやめ
- ◆第67回長崎市小中学校科学教育展
 - 優秀賞 1-3 山口 琴音

中学3年生（15回生）は、10月29日（木）～30日（金）に長崎県佐世保地区でハウステンボスでの活動を中心に修学旅行を実施しました。1日目は、午前中に語学研修「街頭英語」、午後には語学研修「ミッションインフィールド」を実施しました。ネイティブの外国人コーチに臆することなく、日頃の学習の成果を発揮し、楽しそうに英語を使ってコミュニケーションをとる姿が印象的でした。さらに、夕食ではホテルヨーロッパランブラントホールにてテーブルマナー講習を行いました。日頃、なかなか習うことのできないテーブルマナーを学ぶとともに、他国の文化や常識の違いなどにも触れる機会となりました。多くの生徒が手を上げ、講師の先生に質問をする姿が見られました。2日目は、午前中ハウステンボスの自由散策では、各班で事前に話し合った計画を元に園内を楽しそうに散策する姿が見られました。その後、3つのコース（針尾無線塔、無窮洞、川棚魚雷発射試験場）に分かれ平和学習を行いました。長崎県内には様々な戦争の遺構があることを知るとともに、いつもとは違った視点から戦争や平和について考える機会となりました。1泊2日と短い期間ではありましたが、15回生の仲間との集団生活を通して、お互いへの理解や友情を深める機会となりました。今回、新型コロナウイルス感染拡大の影響により当初の計画から、大幅な変更を余儀なくされました。その様な中、保護者の皆様のご理解や多くの方々への協力やサポートがあり、充実したものになりました。感謝の気持ちをこれからの15回生の成長に生かしたいと思います。



10月21日（水）に道徳講演会として、今年度からスクールカウンセラーとして来ていただいている北川里美先生にお話をさせていただきました。「こころの成長のために ～「こころ」とちょっとうまくつきあう方法～」というテーマで、思春期のこころについて、そのなかでの自分や友達との付き合い方についてワークショップも取り入れながらわかりやすく話してくださいました。「静かに過ごす時間をつくる」「人と比べない」「小さなゴールを作る」「深呼吸をする」など実践していきたいことや、「友達は多いほどいい、というものでもない」「いちど友達になっただけでずっと一緒にいなければならない、というわけでもない」と発想を問い直すことまで、様々な気づきのある内容でした。生徒たちからは「ワークショップを通して、一人ひとりが違うということを実感できた」「最近悩むことが多かったが、少し心が軽くなった」「自分をほめるということもしてみようと思った」などの感想がありました。



高校

高2 探究FW (フィールド・ワーク)

本校は本年度のイノベーション（革新的）なグローバル人材を育成する文部科学省のWWL（ワールドワイド・ラーニング）拠点校として活動を開始しました。高校2年生では1年間という長期展望のもとに、国連の持続可能な開発目標（SDGs）や地域創生をテーマに約70の班に分かれて活動を行っています。その探究活動として、11月1日（水）～12日（木）の2日間、長崎、佐世保など8市町で大学や自治体・企業などを訪問し、フィールドワークを行いました。大まかな内訳は、五島30名、佐世保19名、諫早・大村14名、島原5名、などで残りは長崎市内の施設・観光地などを訪問、一部の生徒は学校に残りオンラインでの講演を視聴しました。

1泊2日で探究を行った五島市では、五島市役所・観光協会・五島中央病院などを中心に、五島高校や富江の宿泊施設を含めてたくさんの職員の方々の丁寧な対応を頂きました。離島の産業による地元の活性化・潮流発電による電気の自給・離島留学制度の研究など、自らで設定したテーマのもとに貴重な資料や現状に接し、今後の活動の方向性を得ることができたと思います。今後は12月の中間発表を経て3月の本発表に向け、最後のまとめに取りかかることとなります。次年度以降の流れを作る上で、ハイアール精神で生徒、職員一体となって取り組みたいと思います。



高

高大連携講座

11月10日（火）6・7限、本校の各教室において長崎大学による高大連携講演会が行われました。長崎大学の多文化社会学部、経済学部、教育学部、工学部、医学部、薬学部、情報データ科学部、環境科学部の各学部が10会場に分かれ、オンラインでの実施でした。高2の生徒たちは先生方の講演を聴き、進路に対する意識を高めることができました。



医学部会場の様子

高

県高校総文祭

11月13日（金）に県総文祭開会式が諫早文化会館で行われました。これは長崎県の文化庁が日ごろの練習の成果を発表するものですが、今年度は残念ながらコロナウイルスの影響で規模縮小での実施となりました。それでも、各専門部の部門大会は実施され、本校から出場した生徒も精一杯、日ごろの成果を発揮して活躍する姿が見られました。来年度は12月にブリックホールで九州総文祭が開催されます。本校生徒を中心に九州大会に向けた準備を進めますのでご協力をよろしくお願いいたします。

文芸部門

[部誌部門] 優良賞「万東」（よろずあずま）

[詩部門] 優秀賞 2-4 野本美冬 作品名「逆進」

（来年度の全国総文祭 九州総文祭へ出品）

[アナウンス部門] 優秀賞 2-7山崎遥

（来年度の全国総文祭 九州総文祭へ出場）

[図書部門]

ビブリオバトル 第1位 2-2前田萌花

[広報誌コンクール] 優秀賞